



1.《下は熱い》2019年

ミケル・バルセロ展

Michael Barbasso

2021年8月14日(土)―10月24日(日)

三重県立美術館
PRESS RELEASE 2021.7

展覧会について



2.《とどめの一突き》1990

世界を魅了するスペインの天才 日本初の回顧展

ミケル・バルセロは、大自然を着想源に独創的でダイナミックな作品を手がける、現代を代表するアーティストのひとりです。スペインのマジョルカ島に生まれ、1982年に国際美術展「ドクメンタ7」（ドイツ・カッセル）に参加して以降、国際的な活躍を展開しています。その制作活動は幅広く、絵画、彫刻、陶芸、版画に加え、パフォーマンス、そしてマジョルカのパルマ大聖堂内礼拝堂装飾やスイス・ジュネーヴの国連会議場の天井画といった壮大なプロジェクトも実現しています。

また、バルセロの制作活動はヨーロッパにとどまりません。時にアフリカの砂漠地帯やヒマラヤの高地にも赴きます。大自然との交感 は芸術活動の重要な着想源となり、大地と海、動植物、闘牛などをテーマとした作品を生み出しています。中でも巨大な絵画作品は、そのスケールのみならず、塗り固められた様々な素材やカンヴァスのしわが作る凹凸によって、見る者に圧倒的な存在感をもって迫ります。本展では、初期から現在に至る絵画作品に加え、彫刻や陶芸など90点以上の作品を展示し、その多彩な芸術活動の全容をご紹介します。

展覧会のみどころ

バルセロの初期の作品から近作まで展示

本展では《海のスープ》(1984年)に代表される貴重な初期作品から、90年代の傑作《とどめの一突き》(1990年)や近年描かれた《下は熱い》(2019年)などの絵画作品、そしてこのコロナ禍に描かれた最新のスケッチブック《COVIDのノート》(2020年)まで展示し、バルセロの制作活動の全容をご紹介します。

巨大な絵画作品

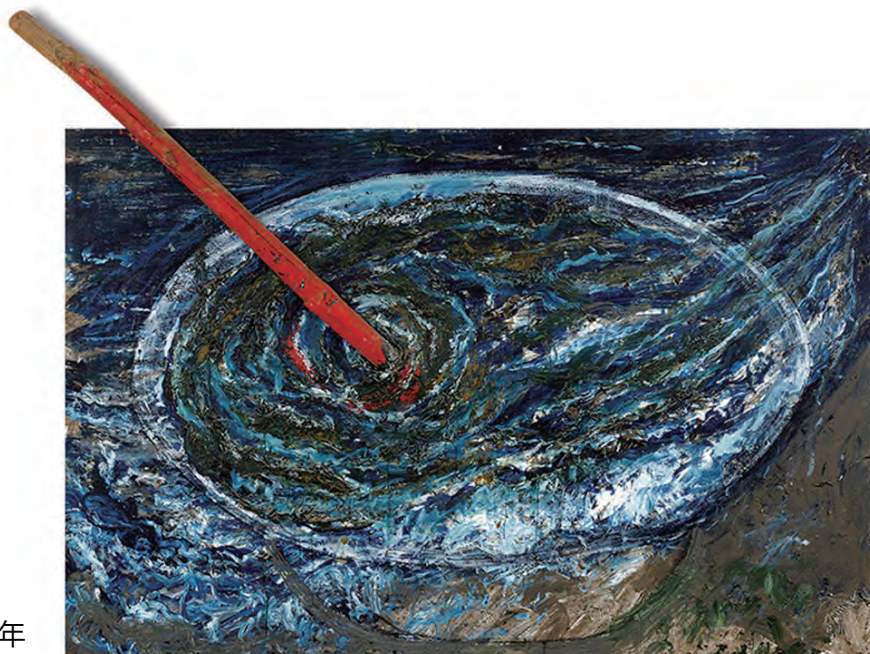
絵画作品の中には、一辺の長さが3メートルに達する巨大な作品もあります。これらの作品の表面には様々な素材が塗り込められたり、カンヴァスにしわがつけられたりすることで立体的な表現がなされています。絵画の前に立てば、印刷物ではわからない作品そのものが持つ存在感に圧倒されることでしょう。

ブリーチ・ペインティングによる不思議な肖像画作品

バルセロは画面に塗られた絵具を脱色(ブリーチ)することにより、人物像をぼんやりと浮かび上がらせるブリーチ・ペインティングという独自の表現を生み出しました。脱色の効果が現れるまでイメージを確認することはできず、描いている間は作家本人でさえどのような結果になるかわかりません。前例のないユニークな方法で描かれた肖像画作品をご覧ください。

独特な陶作品

立体的な絵画作品を手がけるバルセロにとって陶芸は絵画の延長線上にありました。ここでも様々な表現を試みています。バルセロは粘土を叩いたり、踏みつけたり、裂いたり、穴をあけたりしてから窯で焼きます。これにより焼きあがった作品にはひび割れや亀裂、歪みが生じます。バルセロはこうした作品の表面についた痕跡を魚や馬、植物などのイメージに変容させます。バルセロが作り出した一風変わった陶作品をお楽しみください。



3. 《海のスープ》1984年

展覧会概要

ミケル・バルセロ展

会期＝2021年8月14日(土)―10月24日(日)

開館時間＝9:30―17:00(入館は16:30まで)

休館日＝月曜日(2021年9月20日は開館)、9月21日(火)

主催＝三重県立美術館、国立国際美術館、読売新聞社

後援＝スペイン大使館、インスティトゥ・セルバンテス東京、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

助成＝公益財団法人三重県立美術館協力会

制作協力＝ファクト・コンセプトゥール／瀧脇千恵子

観覧料＝一般1,000(800)円／学生800(600)円／高校生以下無料

＊()内は前売りおよび20名以上の団体割引料金

＊この料金で「美術館のコレクション」、柳原義達記念館もご覧いただけます。

＊障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。

＊教育活動の一環として県内学校(幼・小・中・高・特別支援)および相当施設が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。

＊家庭の日(8月15日(日)、9月19日(日)、10月17日(日))は団体割引料金でご覧いただけます。

＊主な前売り券発売所：チケットぴあ、ファミリーマート、セブン-イレブン他



4.《マルセラ》2011年
※ブリーチ・ペインティングによる作品

関連イベント

記念講演会

8月28日(土) 14:00－15:30

「大地と海、命と死——世界の根源へ」

講師：山梨俊夫(本展監修者、前国立国際美術館館長)

場所：三重県立美術館講堂

定員40名／参加費無料・先着順

9月26日(日) 14:00－15:30

「スペイン20世紀美術の流れーピカソからバルセロまでー」

講師：松田健児(慶應義塾大学准教授)

場所：三重県立美術館講堂

定員40名／参加費無料・先着順



5.《カピロテを被る雄山羊》2006年

〔講演会への参加方法〕

13時より開場します。時間になりましたら、直接講堂にお越しください。



6.《歩くフラニ族》2000年

スライド・トーク

9月11日(土)、10月9日(土)

いずれも14:00－14:30頃

場所：三重県立美術館講堂

定員40名／参加費無料・先着順

(13:30開場。直接講堂にお越しください。)

担当学芸員が、展覧会の見どころをお話しします。

◎イベントなどの情報は、今後の状況に応じて変更となる場合があります。最新の情報は当館ウェブサイトをご覧ください。

広報用画像

広報画像申請用紙

ファクシミリをご利用の方は、ご希望の画像に☑を入れ、申請者情報を記入し、下記の宛先にお送りください。あるいは、申請者情報と画像番号をEmailでお送りください。受付後、JPEGまたはTIFFの画像データとキャプションのテキストデータをEmailにてお送りします。

ご所属／
掲載媒体／
電話番号／

担当者氏名／
メールアドレス／

☐1、ミケル・バルセロ《下は熱い》2019年 作家蔵 ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021.
Photograph: ©Agustí Torres

☐2、ミケル・バルセロ《とどめの一突き》1990年 作家蔵 ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021. Photograph: ©André Morin

☐3、ミケル・バルセロ《海のスープ》1984年 作家蔵 ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021. Photograph: ©André Morin

☐4、ミケル・バルセロ《マルセラ》2011年 作家蔵 ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021. Photograph: ©André Morin

☐5、ミケル・バルセロ《カピロテを被る雄山羊》2006年 作家蔵 ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021. Photograph: ©Galerie Bruno Bischofberger

☐6、ミケル・バルセロ《歩くフラニ族》2000年 作家蔵 ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021. Photograph: ©André Morin

◎掲載にあたってのお願い

- ・上記キャプション（作家名、作品名、所蔵先、クレジット等）を画像と一緒に掲載してください。クレジットは写真家のものを含めすべて掲載してください。
- ・作品画像への文字載せ、画像トリミングはご遠慮ください。
- ・掲載物を2部、または紙面データを美術館にお送りください。
- ・ウェブサイト上に掲載する場合はコピーガードをかけ、転載禁止の旨を明記してください。
- ・画像データの広報目的以外の使用はできません。

お問い合わせ

三重県立美術館 学芸普及課 坂本龍太（さかもと・りゅうた）
TEL: 059-227-2100 (代表) / FAX: 059-223-0570
Email: sakamr03@pref.mie.lg.jp